

福岡高速リフレッシュ工事について

福岡高速では、安全・安心・快適な走行環境の提供や、道路の長寿命化を目的として、平成24年度から、老朽化・予防保全対策を実施しています。

千鳥橋JCT～榎田間は、供用から30年以上が経過し、舗装や床板などの損傷が顕在化していますが、交通量も多く沿線には住宅等が近接していることから、これまでは応急的な部分補修にとどまり、床板防水などの抜本的な老朽化・予防保全対策が実施できていませんでした。

このため、当該区間における老朽化・予防保全対策については、都市高速利用者と沿線にお住まいの皆様への影響を考慮し、終日通行止めによる短期集中の対策として福岡高速リフレッシュ工事を令和5年度から実施しています。

令和7年度は、千鳥橋JCT（香椎⇒大宰府方面）及び東浜入口（大宰府・天神方面）において、11月15日から26日までリフレッシュ工事を行い、経年劣化した床板の補修や舗装の全面打ち換え、損傷した伸縮継手の取替等により、橋梁全体の健全性向上と長寿命化を図ります。

【損傷事例】



《コンクリート床版の損傷》

損傷が進行すると、強度が低下し、致命的損傷の恐れ



《舗装の損傷》

走行性の悪化や騒音・振動の増大



《伸縮継手の損傷》

走行性の悪化や車両への接触の危険性

【主な工事内容】

■コンクリート床版補修

既設の舗装を撤去後にコンクリート床版上の損傷箇所を補修することで、損傷の進行を防ぎ、コンクリート床版の長寿命化を図ります。

■床版防水・舗装

傷んだ舗装を打換えることで、安全性・走行性の向上を図ります。また、新たに床版防水を行うことで、損傷の進行を防ぎ、床版の長寿命化を図ります。

■伸縮継手取替

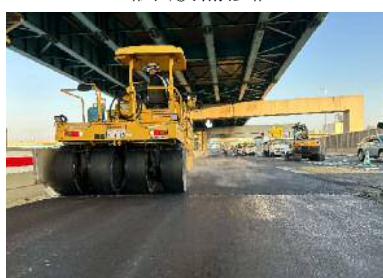
損傷した橋と橋の継ぎ目部のゴム製ジョイントを高耐久な鋼製ジョイントに更新し、走行の安全性や快適性の向上を図るとともに、周辺環境への騒音・振動を低減します。



《床版補修》



《床版防水》



《舗装》



《伸縮継手取替》